

つねに時代の先へ新技術と新発想でお応えいたします!

e-pile next

## 某駅) 機器室新設工事

### 鉄道施設 / 軌道内施工

本物件は、某駅) 機器室新設工事に伴う杭基礎工事です。軌道内工事のため、さまざまな厳しい条件の基で施工計画を組み立てます。列車の運行ダイヤによる終電～始発までの作業時間管理の徹底、また監視人の配置の他、待避方法、使用機械、作業方法等、今回は杭と杭との接続で発生する溶接による火気作業の制限から『無溶接機械式継手』を使用し作業を実施いたしました。杭1カ所当たりの施工長23.4mに対し、継手数4カ所、1回当たりの接続時間は約5分程度と通常の溶接作業に比べ大幅に時短できること、容易に高い品質確保ができることで、施工品質、安全対策ともに、予定工期内で確実な施工を実施することができました。

※元請け様には、搬入誘導、作業地盤養生等ご協力いただき安全且つ無事工事を完了することが出来ました。

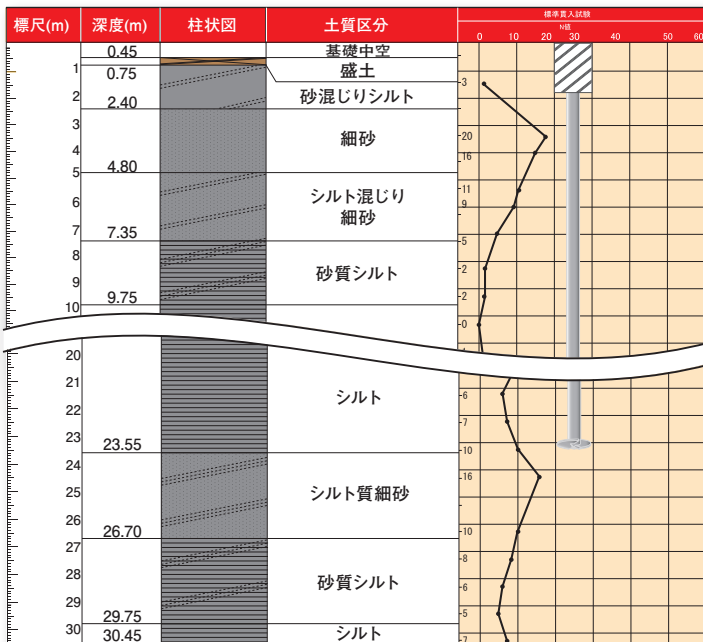
☆ご採用いただきまして、誠に有り難うございました。



### 工事概要

工事名	某駅) 機器室新設工事	杭 径	φ267.4 mm
施工地	神奈川県川崎市川崎区田町	拡翼径	Dw 800 mm
用途	機械室	拡頭径	—
構造	鉄骨造 (S)	深度	SGL-24.5m
建築面積	48.54m <sup>2</sup>	支持力	198kN
工期	2018年9月6日～2018年9月21日	本 数	8 本

### ボーリング柱状図



国土交通省大臣認定工法



・全ての鍵は杭先端にあり

### 公共土木・公共建築での活用拡大 国土交通省「NETIS」

・登録番号: KT-160071-A

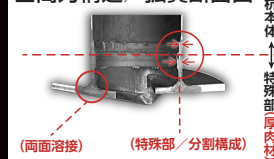
- ・国土交通大臣認定  
 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む)  
 TACP-0484 粘土質地盤
- ・日本建築センター  
 BCI評定-FD0540-01 砂質地盤  
 BCI評定-FD0541-01 礫質地盤  
 BCI評定-FD0542-01 粘土質地盤
- ・日本環境協会  
 エコマーク認定 08 131022号

### 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を・・・「**菱型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を・・・「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を・・・「**自社施工**」により解決しました。

### ■高力構造 / 拡翼断面図



### ■FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

Tobu 株式会社 東部

<http://e-pile.com>

■ 本社  
 〒252-0134  
 神奈川県相模原市緑区下九沢1507-5  
 TEL.042-762-4739 FAX.042-762-8971

■ 本店 / 経理室  
 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1509-4  
 TEL.042-764-4128 FAX.042-762-9593

■ 東京営業所  
 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2  
 朝日生命幡ヶ谷ビル6階  
 TEL.03-3376-0123 FAX.03-3376-0124

■ 相模原機材センター  
 〒252-0101 神奈川県相模原市緑区町屋1-4-37  
 TEL.042-851-2681 FAX.042-851-2682



## 日本赤十字社 北海道胆振東部地震災害義援金を受け付けています

平成30年9月6日に発生した北海道胆振地方中東部を震源とする最大震度7の地震により、北海道に大きな被害が出ました。この災害で被災された方々を支援するため、日本赤十字社では下記のとおり義援金を受け付けております。お寄せいただいた義援金は、北海道に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けいたします。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

**支援期間・支援方法など 受付期間 平成30年9月11日(火)～平成31年3月31日(日)**

※受領証の分割発行はいたしかねますのでご了承ください。  
 ※義援金の受付期間が限定されていることから、クレジットカードでのご協力は手続きから日赤の入金に時間がかかるため、受付をしておりません。迅速に被災地へ義援金をお届けする必要があるため、ご理解とご協力をお願いいたします。金融機関で振り込んだ際の振込票等の控えは、受領証の代わりとなります。これらは、「免税証明書」として寄附金控除申請の際にご利用いただけます。

### ゆうちょ銀行・郵便局

口座記号番号 00130-1-673591  
 口座加入者名  
 日本赤十字社北海道胆振東部地震災害義援金

### 銀行振込

三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787533  
 三菱UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105541  
 みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0620413  
 口座名義はいずれも「日本赤十字社(ニホンセキジウジヤ)」

※ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。  
 ※お振込みの際は、日本赤十字社のHPより事前にご登録のうえお手続きをお願いします。「平成30年北海道胆振地震災害義援金」からご登録ください。

日本赤十字社HPより

## ワンポイント 健康コラム 気をつけたい食べ合わせ

### 食べ合わせ

皆さんは普段、健康に過ごすためにどんなことをしていますか？  
 普段の生活には欠かせない「食事」に気を使っている方は多いのではないのでしょうか。ですが中には食べ合わせによっては、**逆効果**になってしまうこともあるのです…。そこで、気をつけたいNGな食べ合わせをご紹介します！



#### ○トマト+きゅうり

サラダによく使われるこの2つの食材ですが、トマトに豊富に含まれるビタミンCはきゅうりに含まれるアスコルビナーゼという酵素により酸化してしまうのです。



#### ○にんじん+大根

トマト+きゅうり同様、にんじんに含まれるアスコルビナーゼが大根の豊富なビタミンCを壊してしまいます。ですが、<にんじん+大根>の注意点としては**生で摂取しない事!**なので、これを避けるためには50度以上の熱を加えるなどの方法があります。



#### ○しらす+大根

しらすに含まれる必須アミノ酸リジンの吸収を大根がもつ抗体によって阻害してしまうのです。リジンは**体内で作ることができない**ので食べ物から摂取する必要がありますが、これでは効果が得られず、もったいないですね…。



#### ○ワカメ+ネギ

お味噌汁によく使われていますが、ワカメに含まれるカルシウムの呼吸をネギに含まれるリンが阻害してしまうのです。深刻な問題があるわけではありませんが、良い栄養摂取を考えるのであれば、**NG**です。



このように普段気にせず一緒に食べているものが栄養摂取には逆効果だったりするんです。**「栄養を摂らないと!」**と、色々なものを摂取する気持ちは大事ですが、**バランス**がよく関係していることが分かりますね。これは食事だけでなく、サプリメントや飲料でも同じことです。



食材の良い栄養をできるだけ維持できるよう、良い組み合わせを見てみてはいかがでしょうか。

## 経理マンが行く データ復旧

朝がめっきり寒くなりました。インフルエンザもこの時期から流行り出しますので、マスク着用等体調管理を万全にしてください。さて、今回は壊れたデータの復旧の話です。一般的にですが、パソコンのデータバックアップに**USBや外付けハードディスク**等を用いることが多いのではないかと思います。私もそうでした。劣化するものだと聞いていたので、5年ほどを目安に交換もしていたのですが、3年目の先日、**USBが一切反応せず、データが呼び出せません**。経理や労務に重要なデータも含まれており、それがないと仕事もできない為、本当に焦りました。インターネットで調べること数時間、色々な方法を試しましたが、どの方法も全く意味を持ちませんでした。メーカー公表の数値ではメモリの書き換え回数は30~100万回程度とされており、これは**メモリへの書き込みの際に電子が酸化膜を貫通することでこれを劣化させることになる**ようで、それが限界の数字とされています。メモリへの書き換え寿命は数百から数万回とされていますが、実際にメモリに書き込みされる場合は、その書き込みされる物理的なアドレスを毎回ずらす工夫が内部でされているため、この劣化はメモリ全体に万遍なく発生していることになり、実際の使用上の寿命が30~100万回程度となります。そもそも電子によって情報を記憶するという構造に限界があり、書き換えが行われていない、また温度等の環境条件のよいケースでの保持の限界で10年程度とされています。そのため実際の使用環境ではもっと短く、動作保証を2~3年としている製品すらあります。また書き込みを繰り返したメモリは最初から保持期間が短く、リサイクル的な再利用もお勧めできないようですので注意しましょう。そこで、**私はデータ復旧サービスを数社選別し依頼する事にしました**。大事なデータ復旧なので多少の実費は懐が痛いところでしたが致し方ありません。まずは3社をピックアップしそれぞれ依頼メールをしました。この3社はうたい文句はほぼ一緒。**「データは復旧出来ます」と**いうもの。まずA社は返信メールがありません。B社は「むずかしい」との回答。「あれ?復旧出来るんじゃないの?」と少し苛立ちながらC社の連絡を待ちました。「復旧作業が可能かどうかを調査するので媒体を送って欲しい」というメールがきたのは依頼をして数分の早さでした。大事なデータが入っていますから渡すのが不安でしたが、そこはお互いに書面で個人情報管理の確認をとり、媒体を送りましたが、1日経って「媒体が〇時〇分に無事届きました。これから48時間以内にデータを調査致します」とのメールがきて一安心。その数時間後に**「データは全て復旧出来ます」と**メールが来たので見積とよりデータを復旧して頂きました。媒体を送ってから4日後に、渡したUSBと新しいUSBに復旧データがコピーされ、更に1年間の保証まで付けてくださり、「凄い!」の一言です。しかもこの会社様は**365日、24時間年中無休**なのだそう。こういう会社様があると安心してしまい、つい頼ってしまいがちですが、返送されたUSBと共に同封されていたお手紙には「**これからは常に数個のバックアップをとっておく**」的な文言がありましたので読みながら「はい」と答えてしまいました。ちなみに料金は重度の論理障害で高度な解析が必要だったという事で35,000円程度かかりましたが、成功報酬なので復旧が出来なければ無料だそうです。USBメモリは小さく持ち運びも便利ですが、剥き出しのまま持ち運んだりせず必ず専用ケースに入れ、圧力や摩擦などで、メディアが破損しないよう注意が必要です。